

相模原市次期一般廃棄物最終処分場候補地選定について（概要版）

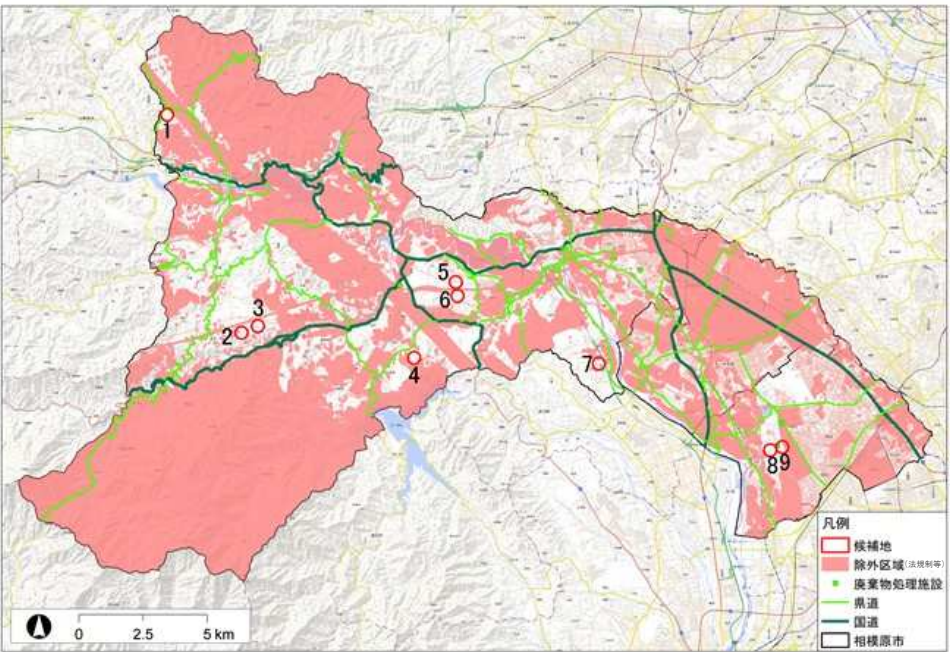
1. 概要

- 南区麻溝台にある現在の一般廃棄物最終処分場第2期整備地は令和19年度途中まで埋立てが行える見込みです。
- 一般廃棄物処理施設は、住民の生活に必要な不可欠な施設ですが、その整備に当たっては候補地の選定や用地の取得に長い期間を要するため、早い時期から次期一般廃棄物最終処分場について検討する必要があります。
- このような背景から、相模原市は令和3年5月に次期一般廃棄物最終処分場の整備に必要な規模やスケジュールなどについて整理した「次期一般廃棄物最終処分場基本構想」を策定し、これに基づき、市内全域から立地可能な9箇所の1次候補地が選定しました。
- 令和3年度には学識経験者等で構成された「相模原市次期一般廃棄物最終処分場候補地選定審議会」において、1次候補地を対象に自然条件や環境条件、経済条件などの観点から評価が行われ、4箇所の候補地に関して答申を受けました。

2. 次期一般廃棄物最終処分場の計画概要

項目	計画		備考
埋立期間	令和19年度～令和33年度		「廃棄物最終処分場の性能に関する指針（平成14年11月改定）／環境省」に従い15年間と設定
埋立対象物	焼却残渣等		焼却灰、ばいじん、溶融飛灰、溶融スラグ、不適物
計画埋立容量	341,400m ³		埋立廃棄物：260,600m ³ （災害廃棄物：30,800m ³ を含む。） 覆土：80,800m ³
敷地面積	埋立面積	34,200m ²	計画埋立容量÷平均埋立高（10m）
	浸出水処理施設	3,700m ²	既設浸出水処理施設面積を参照
	防災調整池	6,000m ²	集水面積や放流水路形状を設定して算出
	管理道路	4,000m ²	設定値（埋立地外周800m×道路幅員5m）
	緑地	20,600m ²	設定値（敷地面積の30％）
	災害廃棄物仮置場	25,300m ²	「相模原市災害廃棄物処理計画（平成27年3月改訂）／相模原市」を基に発生量を算出し、保管高さ5mを想定して仮置場面積を算出
	合計	93,800m ²	

3. 抽出された1次候補地（9箇所）



（番号は西から東に順次付番。法規制等により立地困難な土地である除外区域をピンクに着色）

4. 次期一般廃棄物最終処分場選定審議会

委員構成

氏名	所属等	役職名
大河内 由美子	麻布大学 生命・環境科学部 環境科学科	准教授
規矩 大義	学校法人関東学院	理事長
瀬崎 明	市民委員	—
堂園 いくみ	東京学芸大学 教育学部自然科学系 環境科学分野	准教授
◎濱田 雅巳	公益社団法人 全国都市清掃会議	技術部長

（敬称略、五十音順）、◎会長

（令和3年7月～令和4年3月、全7回開催）

5.候補地選定の進め方

1) 1次候補地の選定

9箇所

2) 整備の実現性が低い候補地の除外

5箇所

3) 2次候補地の選定

5箇所

4) 答申する候補地の選定

4箇所

5) 答申(令和4年3月29日)

○相模原市がスクリーニングを実施

○現地踏査や各種情報を踏まえ、市民生活に直接的な影響を及ぼす可能性のあるものとして「水源の位置」、「道路の整備」などの観点から整備の実現性が低い4つの候補地を除外

1次評価

○評価の項目や方法、重み付け等を決定
○評価を実施

2次評価

○評価の項目や方法を決定
○評価を実施

最終候補地の決定(令和4年度以降)

答申を踏まえ、地域説明、意見聴取や庁内会議などを経て最終候補地を決定

6.1次評価結果（2次候補地の選定）

区分	評価の項目	配点	候補地				
			緑区佐野川	緑区根小屋		南区麻溝台	
			1	5	6	8	9
土地条件	土地利用	10	6.67	6.67	10.00	3.33	6.67
	土地所有	10	6.67	6.67	6.67	3.33	10.00
自然条件	地形の状況	10	10.00	10.00	6.67	10.00	10.00
	希少動植物の確認状況	15	10.00	5.00	5.00	10.00	10.00
	自然の改変度	10	3.33	3.33	3.33	10.00	6.67
環境条件	水源への影響	15	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00
	放流先の状況	10	3.33	3.33	3.33	10.00	10.00
	生活環境への影響	15	10.00	10.00	15.00	5.00	5.00
建設条件	防災法規制該当状況	15	5.00	5.00	5.00	15.00	15.00
	道路の整備	10	10.00	3.33	3.33	10.00	10.00
運搬条件	運搬効率	10	3.33	6.67	6.67	10.00	10.00
合計		130	83.33	75.00	80.00	101.67	108.33

〔結果〕点数に一定程度の開きはあるものの、いずれの候補地も立地の可能性があるため、5箇所全てが2次候補地となりました。

7.2次評価結果（答申する候補地の選定）

区分	評価の項目	候補地				
		緑区佐野川	緑区根小屋		南区麻溝台	
		1	5	6	8	9
土地条件	土地利用	B	B	A	C	B
	土地所有	B	B	B	C	A
自然条件	地形の状況	A	A	B	A	A
	希少動植物の確認状況	B	C	C	B	B
	自然の改変度	C	C	C	A	B
環境条件	水源への影響	A	A	A	A	A
	放流先の状況	C	C	C	A	A
	生活環境への影響	B	C	B	B	C
建設条件	防災に係る法規制等	C	C	C	A	A
運搬条件	運搬効率	C	B	B	A	A
施設配置計画	整備計画の容易性	C	B	B	C	B
	将来計画の可能性	B	B	C	A	B
経済条件	施設整備費	C	B	A	A	A
	維持管理費	C	C	C	B	A

※1次評価で評価した項目について、施設配置計画作成後、再評価を行った

審議の結果、次の4箇所が答申する候補地として選定されました。

- 候補地5（緑区根小屋①）
- 候補地6（緑区根小屋②）
- 候補地8（南区麻溝台①）
- 候補地9（南区麻溝台②）

候補地1（緑区佐野川）は、地形上、谷が狭く、整備のための造成規模が大きくなり、他の候補地に比べ施設整備費が高額と見込まれるため、選定されるに至りませんでした。

8. 答申した候補地の位置図

候補地5 緑区根小屋①

候補地6 緑区根小屋②



候補地8 南区麻溝台①

候補地9 南区麻溝台②

1) 候補地 5 及び 6 (山間部の谷地)

2) 候補地 8 及び 9 (平坦地)

現在の一般廃棄物最終処分場



相模原市域の南東部に位置する。北へ約1kmの位置には南清掃工場、隣地には現在の一般廃棄物最終処分場がある。標高差が少ない平坦地である。
相模原都市計画区域内であり、市街化調整区域である。

相模原市域のほぼ中心に位置する。西へ約3kmの位置には津久井クリーンセンターがある。また、候補地5と6の間はリニア中央新幹線の計画線が東西に伸びている。最大標高差が100m規模の急峻な土地で、複数の谷が点在している。相模湖津久井都市計画区域内であり、用途地域の指定はない。